

指定催しに伴う火災予防指導を実施

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部では、8月23日（土）、24日（日）の2日間、指定催しの「第14回坂戸よさこい」に伴い、火災予防指導を実施しました。

火災予防条例の一部改正（8月1日施行）に伴い、露店等の対象火気器具等を使用する者に対し、消火器の設置が義務付けられました。

今年は、約150の露店が出店され、消火器の設置、LPGボンベの転倒防止措置、ガソリン携行缶の設置場所や取り扱い等について巡回指導を行いました。



処置範囲拡大に伴う救急技術確認訓練を実施

瀬戸市消防本部

瀬戸市消防本部では、救急救命士の処置範囲拡大の運用開始に向け、救急技術確認訓練を実施しました。

この訓練は、救急隊、消防隊によるチームトレーニングの成果を確認するとともに、救急隊と消防隊との連携の強化及び現場対応能力を高めることを目的とし、救急隊と消防隊で編成した出場隊が、①低血糖症例、②ショック症例のうち、いずれかの想定が与えられ、出動指令から模擬医療機関への搬送までの一連の活動を行い、その対応技術の確認を実施しました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

主役は、市民救急隊長！

湖南広域消防局

湖南広域消防局東消防署では、救急医療週間の広報活動の一環として平成26年9月7日（日）に、普段の救急活動を市民の方に理解していただくことを目的に市民公開型の救急訓練を実施しました。来場者から選ばれた救急隊長を中心に市民救急隊を編成し、救急活動体験をしていただきました。参加者からは「普段見る機会が少ない救急活動を見ることができ、よく理解できた。」といった声が聞かれました。



奈良国立博物館夏休み親子講座「守ろう！知ろう！文化財」

奈良市消防局

奈良市消防局では、8月11日（月）に開催された奈良国立博物館夏休み親子講座「守ろう！知ろう！文化財」の中で、訓練用仏像を使用した搬出体験学習を実施しました。

消防局が作成した搬出訓練用仏像「まもろう君」を、講座に参加した小学生と保護者が協力し専用の担架を使用して搬出したり、文化財を火災等の災害から守るために、どのような設備が設置されているのか、どのような取組が行われているか等を学習してもらいました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】